

# 違法・無報告・無規制漁業 に対抗するため、漁業の 透明性を向上させる。

## 前文

私たち署名者一同は、世界の海洋が生命、文化、食料安全保障、そして経済的機会をむ、共有された、かけがえのない資源であると認識します。私たちは、現在および将来の世代のために、海洋生態系を持続可能かつ公平に管理していくという私たちの共同責任を再確認します。

私たちは、この重要な「アワーオーシャン会議」がケニア共和国でアフリカの国で初めて開催されることを歓迎します。これは、国家、国際機関、市民社会、地域社会間の協力を強化し、昆明・モントリオール生物多様性世界枠組、海洋法に関する国際連合条約、持続可能な開発のための2030アジェンダ、パリ協定などの世界的なコミットメントの実施を加速させる機会となります。

私たちは、小規模漁業者、先住民、女性、若者、漁業関係者、地域漁業管理機関、沿岸地域社会が、海洋資源の維持と海洋ガバナンスへの貢献において不可欠な役割を果たしていることを認識します。彼らの知識と権利は、強靱で包摂的なブルーエコノミーを構築する上で、中心に位置づけられなければなりません。

私たちは、2030年までに持続可能な海洋管理を実現しようとする世界的な機運の高まりを歓迎します。しかしながら、私たちは依然として、過剰漁獲、生態系の劣化、生物多様性の減少、そして海洋安全保障の危機といった脅威について深く懸念しています。私たちは、これらの問題が違法・無報告・無規制（IUU）漁業および関連する人権侵害によって引き起こされていることを認識しています。世界の水産物セクターの一部に見られる不透明さが、IUU漁業やそれに伴う人権侵害を阻止する取り組みを妨げているということを強調します。したがって、漁業の透明性を高めることは重要な対応策であると考えます。IUU漁業活動の実質的支配者を特定し、責任を追及するためには、所有構造の透明性が特に重要です。

私たちは、漁業の透明性は小規模漁業と大規模漁業の双方に適用され、両者に利益をもたらすべきであり、また海洋保護区やその他の効果的な地域ベースの保全措置を含む、より広範な海洋管理の取り組みを支援するものであると認識しています。信頼できる情報を適時に入手できることは、国家、地域社会、そして産業界が情報に基づいた意思決定を行うことを可能にし、関係者間の信頼を強化し、海洋資源の持続可能かつ公平な管理に貢献します。

こうした精神に基づき、私たちは、漁業の透明性に関する世界憲章に示された原則を歓迎し、支持します。また、透明性は、世界各地の合法的、持続可能、かつ倫理的な漁業管理の礎であると認識しています。この憲章は、各国が漁業情報の入手しやすさ、信頼性、適時性を向上させるための指針となる、国際的に認められた枠組みを提供するものです。

この宣言は、漁業透明性イニシアティブ（FiTI）基準を含む既存の国際的な取り組みやイニシアティブによって生み出された機運をさらに高め、漁業の透明性改革の実施に向けた一貫性、協力、政治的コミットメントを強化することを目指しています。

## コミットメント



## 透明性とグッドガバナンス

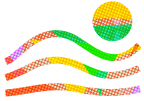
漁業の透明性に関する世界憲章を支持するにあたり、漁業セクター全体で透明性と説明責任に関する政策を推進することを約束します。具体的には、以下の取り組みを行います。

- + 船舶登録簿をデジタル化（または最新鋭化）し、そのデータを国連食糧農業機（FAO）のグローバルレコードと共有する。
- + FiTI基準で推奨されているとおり、漁業許可証、認可証、アクセス協定、漁獲割当量を公表する。
- + すべての大型漁船にIMO番号などの固有船舶識別番号（UVI）を付与し、小型漁船にも順次UVIを導入する。
- + 船舶や漁業会社の実質的支配者に関する情報を収集して、違反行為の背後にいる者を効果的に特定し、責任を追及する。



## 監視・取り締まり協力の強化

私たちは、IUU漁業をより効果的に防止、抑止、撲滅するために、船舶追跡やより効率的な情報共有の取り組みなどを通じて、監視、管理、取り締まり（MCS）を強化することを約束します。これには、便宜置籍船の利用に対処することで、旗国としての責任を強化することが含まれます。さらに、各国は、違法漁業防止寄港国措置協定（PSMA）のシステムを通じたデータ共有を含む寄港国措置を完全に実施し、ガバナンスと取り締まり上の不備を埋めるために地域および国際的なパートナーと協力すべきです。



# 実施に向けた能力開発と支援

私たちは、各国が透明性改革を実施できるよう、能力開発、技術支援、その他の支援を強化することを求めます。これには、登録簿のデジタル化、データ管理システムの強化、MCS能力の向上、および漁業当局における専門人材育成の拡大に対する支援が含まれます。



# 海洋観測とオープンデータ

私たちは、海洋観測システムを強化し、オープンアクセスデータを推進することを約束します。これにより、IUU漁業対策だけでなく、より広範な漁業管理、海洋空間計画、気候変動への適応、海上の安全保障に資する情報を提供することを目指します。

## 結論

私たちは、特にチリと韓国が共同開催する2028年国連海洋会議を念頭に置きつつ、国連システム、国際機関、開発パートナー、学术界、市民社会に対し、これらの優先事項の実現を支援するよう要請します。私たちは、進捗状況を監視し、経験を共有し、技術支援や能力開発の機会を特定するための協力メカニズムの構築を奨励します。

私たちは共に、透明性の確保が2030年までの持続可能な海洋管理の実現を後押しするという共通のビジョンを、改めて確認します。

